日米
THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT 650 ELLIS STREET SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONES: PROSPECT 0238-0239
ENTERED AT S. F. POST OFFICE AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENTS

災害に對する用意

火災には保險を附すべきである

吾等が生活をしてゐる上には色々と災害が降りかかって來る。天災もあらうし、人災もある。人智が進むに從って、これが未然に防がんとし、全くこれを未然に防ぐないまでも成だけその被害の程度を輕からしめんと努むるのである。△近來は自動車による災害が隨分増へて來たが、一般的にその被害の大なるを豫想せられるのは水災と火災である。吾等は過去三ケ年の間に二つの大きな水災の被害を受けた。一つは一九二六年五月末のアイルトンの大火で、一つは今年の前者はタロブ村の大火である。前者は燒失家屋四十五戸損害井萬弗に上り後者は燒失家屋十一戸損害約十五萬弗である。兩者共に貴の吾等の教訓が出來る筈である。一事引商店に深い注意を拂ひ、若しない商店は萬事でその他色々と尋ねべきことがあるであらう。△近來食料品卸商組合迷りでも

世に燒け太りといふ例へはあるがこれは異つた見方で、何年となく粒々辛苦して財産を築き上げた財産が一朝にして灰燼と化したりするは何ともいひ知れぬ打撃である。△吾等は自動車による災害が隨分増へて來たが、一般的にその被害の大なるを豫想せられるのは水災と火災である。吾等は過去三ケ年の間に二つの大きな水災の被害を受けた。一つは一九二六年五月末のアイルトンの大火で、一つは今年の前者はタロブ村の大火である。前者は燒失家屋四十五戸損害井萬弗に上り後者は燒失家屋十一戸損害約十五萬弗である。兩者共に貴の教訓が出來る筈である。△近來

米國政界多年の癌たる農村救濟案遂に解決す

大統領が同案に署名したら直ちに實行に着手する

(華府十四日) 久しき間政爭シングウオース氏は直にこれに署名し、大統領の下へ提出した。の中心問題となつてゐた農村救濟案は、今回の臨時議會においても、デベンチュアー案をやはり必ず上院議行政府及下院間には、遂にこゝに全く解決を見ることゝなつたのである。農村救濟主張者等は妥協案に大不滿でブ民主黨議員と三名の共和黨議反

ブツ〳〵云ひ乍ら妥協案に賛成す

上院のデ案主張者が

上院共同協議でデ案削除の農村救濟案が再度下院へ交附され下院でこれを可決するや、直に上院へ交附された。上院のデ案削除に反對したのは五名の主張者等は妥協案に賛成投票をなし、最後までデ案削除に反對

デ案削除

の農村救濟案であらうが、今回の立案實施により農業界の癌根を絶治し得る

首領連の

賛成として反対決意強硬なりしため、遂に妥協案に對する大出を要求するが議を通過するに至つたので副大統領ドース氏と下院議長ロと大なる期待をかけられてゐる。

大統領は今回の主案に基き、直ちに農務局の委員任命し、農業界安定に

密航青年まで乗せて大西洋横斷飛行に立派に成功したヤロー・バード號球委

密航青年も加はり西班牙領に着陸

佛國飛行家三名が横斷飛行に成功す

(パリー十五日) 佛國飛行家三名の乘つてゐるヤロー、バード號は、洋上大しけに戰ひつゝ遂に大西洋横斷飛行に成功し、ポルトガル海岸より漸次佛都パリに無事着陸を余儀なくされたのであつてゐたが、中途で燃料が全く涸渇してしまつたので殘念な

大繫留庫問題で北加の抗議貫徹

海軍長官は加州各地の候補地を調査せよと命令

(華府十四日) 米國海軍大臣ボンは、張案の一部として太平洋岸に大飛行船繫留場があらたに設立されることは、既報の通りで、華府筋からの報では海軍當局では南加にこれが設立地を決定したように云つたられてゐたのであ北加選出下院議員カーン女史は之に反對して海軍長官へ抗議を提出してゐたがアダムス長官は、北加州各地の候補地を全部檢閲調査すべき旨命じたので、まだ南加に決定してゐるのである。

交附の後

署名の段取り

大統領は十五日農村救濟案を一先づ慎重に從ひ農務、大藏兩閣係當局へ交附し、再附み見たらこれに署名する段取りとなり、又五重佛の女出決議案が先づ下院で決定し上院の協賛を得たら直ちに署名する段取りとなつたのである。

着陸時は午後八時

標準タイム午後三時であつた

パリー発八時東部ランドのアーサー、スチレイ飛行にも何等の疲勞を覺えなかつたといつてゐるがフエヌベリ號飛行船で大西洋を密航した青年はあつたが、飛行機での横

勿論これを以て嚆矢

飛行は

する、別に機體に故障があつたのではないからギヤスリンを得たら、スグ佛都へ向け出發するはずで、今朝早々出發出來るだらうといふ

鑵詰ピーチは八十弗と決定す

二等品は五十弗とす

加州鑵詰ピーチ、グロアース組合は一昨夜市内セント、フランシス、ホテルに會合して本年度ピーチの一等品價格をトン八十弗、その他の鑵詰に使用するものをトン五十弗と決定した。今回の価格決定は、一、一般需況、販路を考慮に入れ二、一般の購買力増加三、米國内の本年度ピーチ收穫等から、かく從來夢想だもしなかつたほどの高値に決定を見た七年度には一千萬ケースの製造が著しく減じてゐることは八十弗、他品は昨年度には全然製造しなかつた。また一九二二年度は、一等品トン二十弗が本年度は八十弗、他品は昨年度には全

生産減の飛沫を受け

本年度に

おいては、六百五十萬ケースの製鑵を見るはずで、昨年度の一千五百萬ケースに比すれば、非常な減少といふべく、隨つて市價騰貴も年末に向つて一段と騰貴し、二千百六十五ケースが出廻の市價騰貴を見たのである。

米國々旗懸賞の入賞者世界漫遊

男女四名平和の使者として

(華府十五日) 米國々旗協會の主催で、全米國のハイスクールおよびグランマー、スクールより華國卒業式、午後八時から本日開教師の説教

日曜の佛教會

日曜の諸教會

▲ホームド教會 日曜學校午前十時

▲日曜學校午前十時 禮拜 同十一時

【我が師り來るまで】幸田牧師 聖餐式執行 ジュニア エンデバー集會 午後七時

▲指導者 林 實 午後七時 ▲日曜學校午前十時 禮拜説教 午前十一時半 寺澤牧師 エポースリーグ 午後七時半 司會 桑原雪子 ▲祈公會 聖餐式及日曜學校 午前九時半 櫻井靈女

▲美以教會 日曜學校午前十時 禮拜説教 午前十一時半 寺澤牧師 午後七時半 司會 伊藤教師 ▲日曜學校午前十時 午後六時半 説教 午後八時半 晩禱 櫻井靈女 禮拜説教 聖書研究 水曜同八時英語 聖書研究 土曜日 午後二時半供集會 塚本暁次郎氏

▲萬國聖書研究團 二千百六十八番 ブッシュ街 土曜日 午後七時半 説教 午後二時半 同三時半 説教 同二時半 ▲救世軍 日曜學校午前九時半 指揮 デウラム大尉 午後一時半 野戰 午後七時半 救靈會 同八時半 増田特務 碑徒パウロ(笑みの)

人曉鳥敏 (17)

居ればいくらでも仕事はある。これでよいといふことの出來ぬほど澤山の仕事がある。

その一つ一つをしてゆくのは面白い。だからさいふてそれをしてゆかなければならぬさいふ執着もない。なるだけは全力を盡してやる。やれなくなつたらあつさりおさらばをするまでの事だ。

▼

この世にいろ〳〵と跡を止めておくことを面白いさ思ふ。なるものと砂上の足跡が何になるかとさつぱりする事もある。

▼

友人澤山に持つことはうれしい。然し友人があるさ悲しい事にも多く觸れなくては

ならぬので、無い方がよいさ思ふこともある。

新しい友人が出來ると、すぐに別れの日のかなしみが思はるゝので、重荷のやうな氣のすることもある。

▼

待つてくれる友人のあるさいふことはさんなにうれしいことか。私はこの友人の情によつて生きてをるやうな氣もする。この世にあるうちはいつまでも友の情の中にゐたい

▼

私は私に過ぎた所親を持つてをる。私は私に過ぎた友人を持つてをる。私は私に過ぎかう思ふこさの出來る私を幸福ださ思うてゐる。

▼

さんな事をも聞くことは避けまい。さんな事にも觸れることも厭ふまい。聞くことも見ることもこゝまでも聞かう、見る。さもこゝまでも見よう。觸れることもこゝまでも觸れよう。さうしてこゝまでも觸れよう。さうしてすべての事の眞實に觸れよう。中核に接しよう。

▼

私は過ぎた所親を持つてをる。私は私に過ぎた師匠を持つてをる。私は私に過ぎた友人を持つてをる。

▼

凝視することはよい事だ。凝視によつて正體が發見せらるゝのである。

▼

早く知つてくれ、わしの見上ぐる程ふとつてくれ、わしはおまへの成長を切に願つてをる。

▼

共鳴といふ言葉がはやる。自分のわからなかつたことをその師からその眞を啓いて貰ひながら、教られたさいはずに共鳴したといつてをる人がある。共鳴にはちがひなからうが、やはり至心に廻向せられたとふ感じの方がうれしいではないか。その德において、その識において飽いて、その識において、隔つた人人の間に、共鳴といふより開眼せられたとか、教へられたとかいふ方がほんとうではあるまいか。今日では共鳴といふ言葉があまりに平面的にうかはれ過ぎてゐるはすまいか。

▼

田舍にゆくこと二十五六の肚年が、五十あまり人に向つて何々君こいうてなるのをよく聞く。あまり聞きよいものではない。長者はやはり長者らしくする方がよいではないか。

▼

彼等は彼等のやらねばならぬことをやつてゐるのだ。そんなことに心をとられてゐるとおまへ自身の仕事が遅まぬうちやないか、馬車馬風に耳立てずに進みなさい。

▲基督教會 日曜學校午前十一時 禮拜 午前十一時 新禱會 水曜午後八時 復活定補氏宅にて 婦人會月第一日曜午後二時於教會堂 高橋女史講話

日米要求

▲要求廣告料金 一行一日二十仙 四日目より一行一日金十仙、二週間目より一行一日五仙の割 申込は電話で(電話Prospect 0239)

人事欄

クック 給人入用の人は家政婦はサンフランシスコ市内 高給を支拂ふ希望者は左記へ

店員 希望者は左記へ

物件欄

教授 個人教授は通信、英語、日本語、公立小學校の語學教授 1765 Sutter St. Tel. Wes 2252

賣家 交通便良目抜場所家具付在月七二階建及四室家具付 参觀ユリア街一六一五照會家主 C. I. Hardy 309 E. 9th St. Pittsburg, Cal.

貸家 自人住宅馬場にて清潔なる日當良御住居向フリ 電話ベイシエ 一一五四

貸家 五室ブラーシ街三階、ドル御四四フイルモアエリヤ 電話ベイシエ 一一五四

貸家 九室内寝室三家賃四五弗 電話都濱四五五七一弗へ

貸家 日當良五室バス付新壁紙 ペット水電話キヤベツ 主持レント格安佛教會隣オーステン街四二〇半見物自由五時後在宅

貸家 九室あり格安に貸す桑細は王府注寫館へ照會

洋沈所 都合で至急格安に譲リニアデエ九〇七へ照會

貸間 日當良二室及クッチン つき パイン街二一〇二

貸間 日當り良き二室及クッチン 付紙訪ベ、日午後二時 後パイン街二〇四一外に煙身尚有

賣家 可警家偶にて住宅入の 敷實の爲め好の場所で、桑細は王府第七お八一七竹下へ照會

洋食店 顧客多く繁昌す良 帰國至急譲りたし主 府電話レーキヤサイド五三三へ

貸家 五弗サンタ街一四一九 ベイン及壁紙家具付 ベイン街一四一九照會 米語

洋染所 鶴國に付き至急譲度 利益電實倉庫の力は 日米紐育支部へ(後附王府)

譲度 十五室居抜の強調に附 至急譲度し照會大正藝舗

貸間 夫婦者に適すカリホルニ 夢論 電話アシベリー五一三五

アパート 三室及ベッド 街一三八八電話オーバ リン四一五五又は三上事務所へ

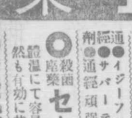
アパート 三室共附オーバレ 街一三八八電話オーバ リン四一五五又は三上事務所へ

洋食屋 電話ウエスター街一五二六 公認 上田産院 産婦 電話ウエスト五〇六八

桑港ウエスター街一六一〇番 御用達 日米用達社 電話フイルモア三七四八

E. A. DIXON Public Accountant 307 Sharon Bldg. San Francisco

インカムタックス エヲスパート ブックキーピング 根本的に作成して上ます。総てブックは合法的に整理して置きません。後日取返がつきません。會計簿記法の御相談は實費で需に應じます 電話サター四八四四 ユニヴーモンガリー街五五



彩民局及稅關手續等の諸 實際上各種のケース 如何に取扱はるべきか? 我も我切確實に御世話申上ます

桑港 南海屋 電話ウエスト九三九九 主 福島仙 鮮電話ウエスト三五六〇 支配人 東弘時 1523 Geary St., San Francisco Calif.

AKI HOTEL 1651 Post St. S. F. Tel. West 1116

信じるる方は御投宿を願ます

桑港 安藝ホテル

◇日本行乘船券取扱

ミルク (元村山) 夏本 桑港サター街一八二五B 電話ウエスト三一三八

新らしいミルクを毎日 鶴早く晩も配達致ます

Gas Consumers' Association 604 Mission St., S. F. Telephone Sutter 717

瓦斯代があまり高いさ思ふ樣な事がありましたらそれは何か故障があるのですから直ぐ電話を御掛け下さい

桑港 公認産婆 助手 河村等洋服店 ポスト街一七五九 (名古屋ホテル内) 電話ウエスト七九五九

新着新柄到着

桑港 公認 林産院 サター街一六二九 電話フイルモア五八四〇 林 ヒイ 大下トク

◇加州歯科醫師會

井戸本保之助 電話フイルモア〇七九二 ポスト街一七七六

林兄歯科醫院 電話フイルモア四二〇九 ポスト街一七七六

山本辰雄 電話フイルモア一二六八 サター街一八七七

藤田省三 電話ウエスト八三五〇 オフアレル街一三九六

藤田歯科醫院 電話ウエスト六六五〇 ポスト街一六六二

檜垣益一 電話ウエスト二四八四 (いろは順)

電話(オーナウ)壹壹四八 うすゞみ

南部所 法律 1605 Laguna St. S. F. 電話フイルモア四〇二

桑港 防長旅館 鶴田鳳吾事門遠手續は弊店獨特の技術あり ●電話サター八五〇一 (62 South Park S. F.)

尋人 四村一郎(岐阜縣)常盤國二郎(廣島縣)井手文寅(熊本縣)植木宗治郎(大阪市)原甚吉(山口縣)朝鮮遠見(鹿兒島縣)大西九左衛門(山口縣)二神常眞(熊本縣)重田藤吉(和歌山縣)安部銀太郎(福岡縣)古賀猛(佐賀縣)(海味)心當りの方は當館まで御通知下さい 在桑港 日本總領事館

北米病院 原昌親 アキヤナル街一七二五 電話ウエスト二〇五七

Co-operative Printing Co. 1761 SUTTER STREET SAN FRANCISCO Walnut 6556 共同印刷

日本人に親切な公證人 J. DAGGETT 事務所電話 Douglas 164 870 Montgomery St., S. F.

カマボコ 製造卸小賣 特に御贈答品は御注文次第調製致します 鮮魚食料品一切 金門商會 桑港グリー街一五二九 電話ウエスト四三七九

鮮魚、精肉 和洋食料雜貨一切 蒲鉾製造卸小賣 細工蒲鉾御注文に應じ可申候 桑港魚市場 桑港ポスト街一七四七 電話フイルモア四二九四

高等支那料理 萬花樓 桑港ブキアナン一六一五 電話ウエスト一五四四

鍼灸あんま術 福岡官立學校卒業 田守吉弘 桑港グリー街一五二二 電話ウエスト四一七四

桑港公認醫師會 ラグナ街一五〇三 加州大學醫學士 原田正專 ポスト街一六巻一 ウオーナッ二二六六

桑港パイン街一八三七 電話オーヴエー八五五五 日本病院 中村竹之助 王城浩 ○外科泌尿器生殖器産婦人眼科耳鼻咽喉 整形外科 ○內科、小兒科 自午後一時至同八時 診察時間

須學士 北河慶次郎 ポスト街一七九四 電話フイルモア五二八八

加州大學醫學士 喜安都定 ポスト街一六巻一 電話フルモア二七二九 ○全科 醫學士 喜安都定病院

桑港 ラグナ街一七二四 電話フイルモア四一七九 ◇ 劉日初 本日差支なければ文支てしなへ

Dr. LAUYIT CHIO 502 Grant Ave., S. F. Branch 1810 Fillmore St., S. F. 腎臓特別治療 婦人科 性病 梅毒、痲病專門 全治保證 男女內外科 皮膚血毒病 神經性神經衰弱婦人科 診察通信無料

桑港ポスト街一七一五 電話フイルモア九二一四 加州醫學校卒業 板谷元雄

桑港 防長旅館

桑港、羅府、東洋間 (横濱迄十五日) 桑港發 羅府發 船名 マツキンレー號 六月十二日 六月十七日 グランド號 六月廿六日 七月一日 ウイルソン号 七月一日 七月廿五日 クリブランド号 七月十日 七月十五日 アフス號 七月廿九日 八月一日 フト號 八月七日 八月十二日 ダラー汽船會社 電話ガーフィルド四三〇〇

DOLLAR STEAMSHIP LINE 311 California St., S. F. Calif.

大阪商船出帆廣告 日本郵船株式會社 桑港マーケット街五五一 電話サター三九〇〇 日本郵船 桑港出帆廣告 日本郵船株式會社 桑港ポスト街五〇一 (62 South Park S. F.)

N. Y. K. LINE

桑港出帆廣告 日本郵船株式會社 桑港ポスト街五〇一 (62 South Park S. F.)

桑港旅館組合 (御婦人の者國出に並に國入者の再び許可申請すれば話世御に全完も最寄萬繁盛手)

大正藥舗 ○寶命丸 一瓶分五弗 ○服藥 ○ウイキ ○セーフテー球 ○殺菌 ○新式機能發育器 TAISHO DRUG CO. 1601 Post St., S. F. Calif.

内務卿の格式を捨て打解けて園遊會

ウィルバー氏が井田氏の出席を特に悦び迎へた

フーバー内閣の内務卿に就任された前スタンフォード大学総長ウィルバー氏はこの程休暇を得て欧米漫遊の途桑港に立寄り、ウィルバー氏はこの程休暇を得て欧米漫遊の途桑港に立寄り、ウィルバー氏は出洲大使が就任式後最初の歓迎会を開催したが、日本人側よりは井田総領事が招待をうけ出席したが、ウィルバー氏は彼太平洋沿岸の懇談会長であつた関係上桑港より、わざ〜日本代表者が出席したことを非常に悦んで迎へ種々懇談を交換したといふが、殊に農村救濟要綱に大統領の署名あるまでこころへビストルをつきつける歳となつたので、同案に基づき第一に救濟の手續をとるの走してしまつた。アトで調べだが、加州葡萄園の荒廃は八千四百弗、チェッキ

農村救濟要求で一番槍の功名か

抜目ない加州葡萄耕作者代表を華府へ派遣

農村救濟案は大統領の署名あるまでこころへビストルをつきつける歳となつたので、同案に基づき第一に救濟の手續をとるの走してしまつた。アトで調べだが、加州葡萄園の荒廃は八千四百弗、チェッキ者は同案通過を即越し、既に一月前からフェデラル・グレイブ、スタビリゼーション會社を組織して、農村救濟案の規定に適用するよう、着々準備中であつた。さ

救濟費の使途

収穫買上に

グレイブ、スタビリゼーション會社は農務局より融通を受けた資金を左のごとき使途に振向ける筈である。

一、一九二九年三〇年三、三年間のレーズン、グレイブ取得費収穫することこと

二、農民家はスタビリゼーション會社を通じて殆ど一ケ年二百万トンからの収穫によつて利益を得るために必要が起つたら、一般市場で収穫の買上げをなし得るようにする。

麥嶺の銀行強盜が

一萬七千弗強奪し去る

一昨日午後三時ごろパークレイ

庭球大會に決勝戦へ

ホルマン奪ふ

パークレイで開かれてゐる太平洋沿岸庭球大會のシングル戦で、ホルマンはスタビリゼーション出たものか、休養のため出場しないで、ポーター氏は選手権獲得の為に出場し、前チャンピオンのホルマンはエールブラウンを下し、本日小時間後、ポーター氏は準決勝戦で

株式

實物中直表

（五月廿一日調・東位十錢）

▲銀行株

日銀	二百圓
正金	百圓
朝鮮	百圓
勧銀	五百圓
興銀	五百圓
興銀	五百圓
北海銀	五百圓
東農工	二〇〇
第一銀	九〇〇
安田銀	六一〇
殖産銀	五一〇
新三井	九八〇

▲保險株

帝國上	五〇〇
東洋生	二一〇
東京火	二一〇
日本火	二一〇
濱火災	二一〇
共同火	二一〇
	三一七

▲電鐵株

湯鐵	百圓
東武鐵	五〇〇
京濱鐵	九五九
玉川鐵	五〇二
京王鐵	七〇〇
王子鐵	七三三
京成鐵	六七〇
小田急	二二八
地下鐵	二六六

▲電力瓦斯株

鬼怒川	五五三
九州水	五四〇
北海電	五一〇
宮城電	五〇〇
吾妻川	四一七
東京發	三一〇
大同電	五六八
東部電	五六四
東邦電	六三一
東瓦斯	六三五

▲船舶株

郵船	六三〇
商船	四二〇
石川島	一七〇
横濱渠	三三〇
浦賀	三五五

▲鑛業株

北海炭	五〇〇
三菱鑛	五二〇
北樺油	三四五
新日石	二三七
東洋鑛	四五五

▲紡績株

鐘紡	五〇〇
富士紡	二五八
日清紡	五八四
同新株	一〇五二
東洋紡	一二五
帝國繊	一八七〇
丸善	四五九
帝國繊	五〇〇
東洋紡	一二五
帝國繊	一八七〇
丸善	四五九
帝國繊	五〇〇
京モス	四〇六
洋モス	一六〇
合同毛	三一〇

▲砂糖株

日本新	五〇〇
樺水糖	五〇〇
臺灣糖	一二五
同新株	五〇〇
明治糖	七三九
帝國糖	四三八
大正糖	四五五

▲諸株式

臺南糖	五〇〇
日本麻	五〇〇
富士紙	一一五二
王子紙	七七五
樺太工	一〇七二
同新株	五〇〇
人造肥	一〇八
淺野セ	五〇〇
磐城セ	五〇〇
日動車	一四七〇
三越	一四一一
新松屋	二五〇
白木屋	四六五
同新株	四〇〇
日活	五一〇
日本水	五一〇
三共	五〇〇
新森水	四五〇

▲取引所信託株

東株	五〇〇
濱株	二五〇
大株	五〇〇
代行株	一二五
安田信	一二五
住友信	一二五

桑港市況

六月十五日

雨が祟つて出荷多からず市況手堅し

イチゴ更に強い

ストロベリー

六月十五日

果物相場

標準卸値

單位仙

エヴリカット箱	二五〇
アップル箱	二五〇
ニュタオン四テヤ	三半
ロムビュテー小中	一〇〇
バナナ布哇封度	四半
マクロ瓜スタンダード	二五
グレフルツ南加箱	二〇〇
ラレ箱	二五
レモン箱	二五
ネベル箱	二五
オレンヂ箱	二五
同小箱	二五
苺	
クレート	二五
ドロワー	一〇〇
ラスベリクレート箱	二五
ブラック箱	二五
チエリー封度	一〇
ピーチ クレート	二五

ピーチ

出荷薄で上物に對しボンド二仙より三仙あがつて、ターターリアンがボンド七仙より十仙、ピングス十六仙より十八仙、ブアー品はやはり十四仙見當、白ローヤル十仙より十二仙、ブアー七仙より九仙

キャンタロプ

着荷大貨車と七トラック供給や青葱や多いので値段下向いてジャムボー三郎七十五仙より四二廿五仙、スタンダード三郎五十仙より四郎、ポニス二郎五十仙より二郎廿五仙、フラット一郎廿五仙より一郎五十仙見當動きはまづ活潑の方

桑港市場

米國關稅改正案（四）

に對する私見

小豆澤兵重

▲干魚及塩魚はまづ變更されないが數の干や鮭の筋子は從來の從價三割のものが從量稅に變更されて一ポンドにつき二十仙となるから殆ど倍價となるお正月には高い數の子を食べさせられる譯である。

▲醤油及び味噌その他梅づけ、雑づけ、紅生姜づけは變更されない。尚また切麩、ビスケット、センベイ、菓子類も從來通り三割である。

▲松茸及椎茸に從來の四割五分が其だしき高率となるとも掲らず更に六割までせりあげてある。尚に他の乾物類は從來通り三割五分であるが生の野菜物は二割五分より一躍五割となる。

▲目下シヤトルを紙で盛に輸入中の日本のオレンヂは從來通り一仙ポンドである。

▲海草類即ち淺草海苔等は變更されない。

▲日本産のチヤリーは百ポンド二弗が一躍五弗となり支那のマスターシードは一弗より二弗割となり日本の里芋の如きはその影響をうけて輸入量の減少を恐れるがそれがため布哇里芋は益々賣れるものと推定される。

心の武装（6）

蒼白き薔薇（125）

中村武羅夫作

「といつては失禮ですが、家族の一員になつたつもりで、いろんのすきなお土産を買つて來ますから。」

佐野も、既に動きだした電車につかまりながらいつた。

「何にでもご存じないのだ。お二人とも、わたしが、さんなことを考へてゐるか、さんなことをしやうと思つてゐるか、ちつともご存じないのだ。」

さう思つて八重子は、自分が恐らしい男人のやうな氣がした。

八重子は、佐野と一緒に、江の島へ遊びにゆく姉のゆり子を、石切の停留所まで送つて、電車の窓から見ねなくなるまで、そこに、ぼんやり立つてゐた。

八重子は何にも知らない姉が、自分を信頼して、よく留守をしてゆかうとして、一生懸命に買つても、それは仕方がないと思つた。映畫女優になるなどのやうに、自分のことを心配していつても姉が許してくれる氣遣ひはなかつた。

突していつた顔が、今もまざまざと目に見ゆるやうな氣がした。

「待つてゐて下さい。八重子さん。」

佐野は、二人の優しさと愛さを思ふと、八重子は胸がいたまやうにはかなかつた。彼女はいつの間にか自然と涙ぐんでゐた。

でも、八重子は自分の決心を翻さうとは思はなかつた。

「わたしが、お姉さまのお留守の間に、突然のなくなつたりすれば、お姉さまはさんなにお驚きになるばかりではない。さんなにお怒りになり失望なさるか知れない。」

八重子は、姉の純眞な愛情を思ふと、暗然とならずにはゐなかつた。自分が突然のなくなつてしまつた後の、姉の怒りと失望とを考へると、胸が裂かれるやうな氣がした。

だが、それでも八重子は、自分が決行しやうとしてゐることを止す氣にはなれなかつた。

「成功すればいゝのだわ。成功した上でよくおわびをすれば、お姉さまだつてきつと許してくださるに違ひない。」

八重子はさう思つて、せめても自ら慰めとした。

このままぢつとしてゐても、たゞ徒らに姉の厄介になるばかりだ。さうなる當もない。成功すこしでも自分をちやんと教育するために、一時は姉の怒りを買つても、それは仕方がないと思つた。映畫女優になるなどのやうに、自分のことを心配していつても姉が許してくれる氣遣ひ可愛がつたりしてくれる佐野。

株式

堅實株に買ひ氣

主力株保合

（東京五月廿六日發）

東株は

あまり氣勢があがらぬが鐘株は引つき戻り足をつゞけてゐる。人氣は堅實株からといふの株を標準にしてゐるやうに見ゐる。

買ひ氣が起らぬ。殊に鐘紡は群を抜いて強調である。

買いれは主として採算株にあり買ひ氣が起らぬ。殊に鐘紡は群を抜いて強調である。

南加版

市外電話（MU）ミューチュアル八四一五

榮冠は何れへ……
角力大會始まる
先陣は布市、桑港の取組

空は紺碧、地に深緑り、南北加州南年の力を示す相撲大會は愈々十五、六兩日となつた。櫻府軍は畑中監督引率のもとに昨夜來羅しイーグルホテルに投宿、サンノゼ軍も同朝到着し同じくイーグルホテルに入り、桑港、フレスノ、チワナ各地方選抜の力士いづれも夕乘り込み、稽古を開始した。今度の相撲大會で成績抜群の者をゐらんで、來月日本から來る中等部生選手を取組ませるといふから、力士は○第一回……フノスノ對桑港もとより人氣をあふり、出場○第二回……ハーバンク對チワナ手は次のさほど○第三回……サンフゼ對散港○第四回……櫻府對羅府○第五回……布市對チワナ

○桑港……美濃の松　月向洋
石波　谷光　江島櫻
○バーバンク……山砲　虎伏山
上田　阿蘇タ嶽　力石
○チワナ……錦川　玉錦　千和奈
川　低加州　墨國
○サンノゼ……有明　石井　小櫻
○浮沙……龍門山　源氏山　八ツカ
青葉山　小港
○櫻府……谷風　源氏山　八ツカ
○朝日山　北勇　鷹ノ森　敷嶋
○散港……鐵ケ嶽　寶山　沖津波
荒船　関
初日取組

○等六回……バーバンク對散港
○第七回……サンノゼ對羅府
○第八回……櫻府對桑港
○第九回……布市對散港
○第十回……布市對散港
○第十一回……バーバンク對羅府
○第十二回……サンノゼ對桑港

デツドロツクに乘り上げた
羅府日會は何うなる??
責任を轉嫁し合ふ珍妙な現象
夏向に此際總辭職か

羅府日會は前書記長問題は俄然詮議に於ける新舊書記長招待に難癖付け、衝突の責任を問ふべしとの論もいたしある者を特に名を擧げ（このうち書記長を採用するかしないかは幾重の權限にあるこさて、證衡委員側にもこの際トコンまで貧乏籤はひきたくないさ、總辭職なら參事員諸共一蓮托生……の腹らしい）で事益々面倒となり、さう落着くか各方面から興味ふかく見られてゐる。これまでにいたる路を簡單に示すと

兩書記長の辭職

日會、商議の合併に共に舊羅日書記長寫山三郎氏の辭職あり、引續いて高橋商議書記長も辭職願を出だし、舊府議幹部及日會有志の一部は就任日なほ淺く商品陳列所問題、領事館昇格問題、合併問題と活躍する處多かつた高橋氏を書記長に推し、書記一名を入れて陣容を新にしやうと書記を募集したところ杉本氏が履歴書をだした。これに反對した舊日會幹部の一部は合併した以上書記長も全然新たにすべしと運動し、つひに杉本氏を書記長候補として證衡委員をパスした

噂の出所は?

書記長を推薦するさき、その衝にあたつた人々の中には既に今回の問題を惹起した材料を所知してゐたが、その儘通過し、先週木曜日頃からパラこの噂が擴まるや、俄に態度をかへて寧ろ新書記長の過去を洗ひ立てにし、自己の責任を回避しやうとした事實が傳へられてゐる。

招待は無延期

今週火曜日夜高岡領事代理の官

羅府日會幹部は俄然詮議に於ける新舊書記長招待に難癖付け、衝突の責任を問ふべしとの論もいたしある者を特に名を擧げ（このうち書記長を採用するかしないかは幾重の權限にあるこさて、證衡委員側にもこの際トコンまで貧乏籤はひきたくないさ、總辭職なら參事員諸共一蓮托生……の腹らしい）で事益々面倒となり、さう落着くか各方面から興味ふかく見られてゐる。これまでにいたる路を簡單に示すと

彌次大勢で賑ふ

高橋舊書記長に對する同情は、新事務員の個人に勢する問題よりも日會幹部の一部を難詰するにいたり、新書記長も事ここにいたつた以上居座つて證衡委員會議では一寸解散出來かねる。

羅府日會

農家救濟案通過して 蔔萄産業安定の望み輝く

（十四日）

近く一大祝賀の催ふしを全州各市同日に開き且つ署名勸誘を

一瀉千里で決行

米國上院が輸出デベンチャー條項を拔きにした農家救濟案を三票の差で否決して兩院協議會に突きやしたが下院は二百五十對百十三の差で協議會を可決し再び上院の投票に附せられ七十四對九の差（今回はクーリッジ御人も賛成に廻つてゐるので可決されさいよ～農家救濟案は確定し明日フリーパー大統領の署名を得て實施せらるゝことになつた。菊萄業は斯くあるべし愛期しながらも右の報に接し手の舞足の踏むところを知らざる歡喜の聲を擧げてゐる。數週にわたり南船北馬菊萄安定計畫を全州に說示してゐたコーン氏得意滿面で最早菊萄業者はレーズン出荷者もフレシュ出荷者も安定冒險に契約署名に躊躇するものもあまじく茲に數年悲願にあつた一萬五千人の耕作者と七千萬英加の菊萄耕作面積が浮かみあがる樂園であるから日本人耕作者は安定會社に署名契約する。

日本人耕作者

員の來たるを待たず自ら進んで署名すべきである！日曜午後一時からの布佛會堂への農業者大會へ洩れなく出席して十分に安定計畫の詳細を聽取すべきであるが今は議論の時を過ぎて實行の時に入つた譯であもう！

―なほ既報―

全州市長會議

はレーメル布市々長から紹待狀を發し火曜（十八日）に開催しその席上で

全州的祝賀デー

の日取りを定めその日は午前十時より午後一時まで一般に休業しまた安定計畫勸誘實行委員（男子百人女子百人）のほか多數青年團電氣工業用等が爆竹生徒等輝かしき滿足面して目覺しき飾裝飾の應援運動者と共に大擧して未だ署名を了へざる農家を戸別訪問することになつてゐる

美以教會

●修業式プログラム十六日（日曜）午前十時日曜學校と共に「子供の日」として美以學園第一回修業式を擧行するがプログラムは聖書　大工廻しづ　れ祈り　松山はな「主我を愛す」幼稚科　開會の挨拶　宮本ゐみ「大工さん」　渡口フレド「ミューキ」一年生庭つくり　宮本禮三　暗誦　後藤あい子　龍の尾の話　城間ちつ　讀み　三上玄子「ポリーさと子供」　渡口ジャニー　宮本禮三　白鳥さん　城間まつ　「讀本」　後藤ひめ　暗誦　松山ヂョーデ　兎さん　一年生　松崎餘　福島切花及び城戸氏寄附なり

一瀉千里で決行

城間めり一　宮本ゐみ　渡口風　學園は獨立祭後約二週間夏期學校開始の筈

罐桃値段一噸八十弗

加州繊維桃罐作者組合は桑港に重役會を開き本年の罐桃一等品一トン八十弗、二等品五十弗の値段を發表したがこの値段は一九二二年以來八ヶ年間未曾有の高値段だといふ……一九二二年には一トン六十弗であつた

青年力士羅府へ

十六日來布の雷だが布日會・廣島縣人會合同で左のプログラムを作つた

七七日（月曜）地方視察（午後六時半歡迎晩餐會（田中レストラント樓上食堂）ひきつゞき縣政談會

荒川五郎氏 滯布日程

八時大講演會（日本ホール、傍聽無料）

オークランド

●寄附　松永永吉氏は金五弗を孤佛教會へ佐々木長平、浦津寛平兩氏は故國に兩夫人の殿女逝去につき追悼紀念として孤佛教會並に同婦人會へ何れも金十弗づゝ寄附

●修業式欠席　昭和學園第一回修業式後夜間の見童劇は最初の試みとして頗る上出來で父兄一同會者一同驚きの色あり大當夜は青年會員の應援も教育映畫も共に一層滿足したりと因みに祝賀寄附は左の如くで當事者は感謝しをれり

金五弗宛　福井　北原　吉田　金三弗宛　紋高　北原　北垣　小山　金二弗五十仙宛廣田　坡戸　金二弗宛廣中　大川　吉田　秋　吉岡　藤井　武田　田中　源石井　堀田　浦　伊藤　吉田晉吉　西川　高田　道上　川添　次崎　井上　渡金一弗五十仙宛井上市次郎　橋　東司八郎　木村　東司　吉　波多江　青木　細水澄

卒業及修業式順序

來る十六日午後二時より南美以教會堂において墨行の卒業及び修業式順序は左の如し

司會者　河本德吉　奏樂　米國歌　起立一同　祈禱　水野牧師　來賓及父兄代表　霜島和一郎　唱歌（我等が希望）生徒一同　閉會の辭　司會者　記念撮影

學園會を開催し種々執行の筈で賀客並に同婦人會へ何れも金十弗づゝ寄附

●佛婦人會の活躍　來る廿三四日の兩夜王佛婦人會が主催で松井榮氏氏說明で『愚鬱の彼方へ』と『空の勇士』といふなかなか面白き活動寫眞の映寫を王佛ホールで開催する筈なれば多數の婦人達が多數の來會を望みをれり

●移轉　パグレーの產枝仁一郎氏は今度同地スチュワート枝仁一郎氏に移轉す電話パグレー七九六一ゲブルーなり

●業務擴張　鄭六街で永く營業し近頃益はいよ～フランクリン街に八及九街の間に移轉し業務を擴張し晝夜晴雨の別なく顧客の撮影に從事する筈

●入院　井上金藏氏夫人はセント、アントニー病院に入り脳膜ガーデンにて同君のため速別の手術をなしたがその後の經過頗る良好のよし

●定例參事會　去る十三日定例參事會ありて出席者あり增田會長報告後修繕の出張者あり增田會長報告

●欠年　パカビール方面においては去る十三日定例參事會ありて出席者あり增田會長報告後修繕の出張者あり增田會長報告

●欠年　パカビール方面においては去る十三日定例參事會ありて出席者あり增田會長報告後修繕の出張者あり增田會長報告

●會計主任草野氏不在につき中村會計主任草野氏不在につき中村會計主任草野氏不在につき中村

サクラメント（十五日）

スカウト出發期み

知事より日本への紹介狀を正式に廿五小隊に授與 其日に市街行列

高井夫婦送別會

桑原夫人をも加へて

當市のボーイスカウト第二十五小隊はいよ〳〵來る十八日の火曜午後五時特別にチャーターせる汽船にて出發し十九日解纜のさいべりや丸に横付けされて直に渡日の航途に上るべきが、十八日午後三時スカウトは市街行列を挙行し、州廳に加州知事を訪れて告別する順序でその際知事ヤング氏より正式に右スカウト隊に對し

▲日本への紹介狀を授與す

ることになつてゐる、まづ市内ケーイ街のハラランコールド商店（ケーイ街千四百一番）は午前十一時から午後二時半までの間に右スカウトの招待會を催すさうで誰でも參會してもらひたいと（ケーイ街と十四角）右行列順序は

▲十八日午後三時、十四街と

ケーイ街角より出發十一街に出で州廳にいたり十一街より第一ケーイ街に出で、ケーイ街を通りエム街を通りてフロント街よりポートに乘る

▲埠頭前に於いては市民委代表フレッド・ジョンス氏は右スカウトに對し歓別式を行ふべく日本人の諸團體ならびに個人の行列參加を希望するさうである、スカウト以外の行列は自動車で可なりと

釣魚法案の喰止め成功に

羅府同好より謝禮金

本年の州會が通過せんとした日本人目あての遊漁禁止並びに釣魚禁止法案の際さいところで喰ひ止めたが、謝禮として農には、スーランの同好より十五弗を當市同胞釣魚クラブに寄せて來たが今回はまた羅府の釣魚同好者より十五弗をなほ同市の古澤ドクターよりの謝禮金を當市の釣魚クラブに寄せて來たさうだ

ブライトン學園 修業式と

學藝會を盛大に挙行

市ブライトン邦語學園は去る十三日午後七時より修業式を挙行したが第一式は蓬田生七氏司會し樺原學務委員の諸書授與高井紗師學事報告、高井國吾氏の訓話、父兄代表豆塚己鉄氏および大正學園小林氏の祝辭、修業生鈴代、砂原カズエ、横谷、修業生一同修業の歌あり、閉師として閉式を挙げ、第二式學藝會は、高井國吾氏の司會で諸生の賣方、書方、獨語、暗誦、唱歌等三十種ほどあり、何れも上出來で盛會なりしと修業生の優等生は砂原カズエ、蓬田生の優等生は砂原カズエ、蓬田氏等の歌迎の辭坂口、正田兩氏の答辭ありて歓人會よりの茶菓メリー、弘田マサ子、岡セツ子花束贈呈さる

須市郵便局の增築と發着發

局長ハウリー氏の聲明

スタクトン（十四日）東信電話 四四二

スタクトン郵便局長、ハウリー氏は今回同局に新に飛行郵便の發着表を作製した旨發表したが同氏の談によると郵便物の投函時間わづか一時間の差で到着が一日も早くなり、また遅くなる日（木）限りとし、二十三日日曜の午前十時より卒業及び修業式を挙行さ決したり、なほ本年度前期卒業生氏名は左の如し

西岡正三　西本輝夫　藤森克己　廣瀬博男　荒川勲　國井まつ子　新藤花子　岡本千鶴子　津嶋靜子　藤井チヅ藤重二子

▲修業生七年生十八名、六年生二十二名、五年生二十八名、四年生三十二名、三年生二十六名、二年生三十三名、一年生十九名、計百七十八名の前期生修業生あり

須市邦語學園 卒業式

須市學園の本學年授業は來る二月三日を以て終業し、卒業生は左の如し

▲修業生七年生十八名、六年生二十二名、五年生二十八名、四年生三十二名、三年生二十六名、二年生三十三名、一年生十九名、計百七十八名の前期生修業生あり

歡迎會盛大

沙港著

須市發　午後六時五十五分
午前四時五十五分
二日目午後六時半分
午前七時
羅府着　午後六時十五分

ハンデキャプ 庭球競技

須市日本人庭球倶樂部にては本年六月日本人專用コートにおいてハンデキャプ單試合を左の順序によりて年前九時より開催たギャストンは本日突然二三の小賣り者によつて十七仙まで値下げ實行されたが、同プラスが明日掛續されれば、他の大販賣者もこれに對抗してそれ以上の値下げを斷行するといふ

ワツソンビル

●ペンリン十五日

映畫會中止

浪右工門病む

スタクトン郊外フレンチキャンプにては十五日土曜午後二時より佛教會サンデースクールを開催する、當日は寺川開教使並びに數名のスタクトン日曜學校生徒は張りきり、なほ既に中止したと

サンマテオ【十三日】

講演會

ハンデキャプ

須市日本人庭球倶樂部にては本年六月日本人專用コートにおいてハンデキャプ單試合を左の順序によりて年前九時より開催たギャストンは本日突然二三の小賣り者によつて十七仙まで値下げ實行されたが、同プラスが明日掛續されれば、他の大販賣者もこれに對抗してそれ以上の値下げを斷行するといふ

ワツソンビル

エスピー ステーションの驛

長の話に依ると約二ケ月前一日本人同驛よりエキスプレスにて

基敎の夏期學校

桑原夫人をも加へて

前項修業式と學藝會を終つたブライトン邦語學園では引續き同使敎師の高井夫人と母の會の桑原夫人ならびにスカウト二十五小隊監督で渡日する高井誠吾氏の送別の茶話會を催んだ、父兄の會員生徒一堂で、武内太郎氏學園を代表して高井敎師に對し

▲日本への紹介狀を授與す

ることになつてゐる、まづ市内ケーイ街のハラランコールド商店（ケーイ街千四百一番）は午前十一時から午後二時半までの間に右スカウトの招待會を催すさうで誰でも參會してもらひたいと（ケーイ街と十四角）右行列順序は

▲十八日午後三時、十四街と

ケーイ街角より出發十一街に出で州廳にいたり十一街より第一ケーイ街に出で、ケーイ街を通りエム街を通りてフロント街よりポートに乘る

▲埠頭前に於いては市民委代表フレッド・ジョンス氏は右スカウトに對し歓別式を行ふべく日本人の諸團體ならびに個人の行列參加を希望するさうである、スカウト以外の行列は自動車で可なりと

釣魚法案の喰止め成功に

羅府同好より謝禮金

本年の州會が通過せんとした日本人目あての遊漁禁止並びに釣魚禁止法案の際さいところで喰ひ止めたが、謝禮として農には、スーランの同好より十五弗を當市同胞釣魚クラブに寄せて來たが今回はまた羅府の釣魚同好者より十五弗をなほ同市の古澤ドクターよりの謝禮金を當市の釣魚クラブに寄せて來たさうだ

ブライトン學園 修業式と

學藝會を盛大に挙行

市ブライトン邦語學園は去る十三日午後七時より修業式を挙行したが第一式は蓬田生七氏司會し樺原學務委員の諸書授與高井紗師學事報告、高井國吾氏の訓話、父兄代表豆塚己鉄氏および大正學園小林氏の祝辭、修業生一同修業の歌あり、閉師として閉式を挙げ、第二式學藝會は、高井國吾氏の司會で諸生の賣方、書方、獨語、暗誦、唱歌等三十種ほどあり、何れも上出來で盛會なりしと修業生の優等生は砂原カズエ、蓬田生の優等生は砂原カズエ、蓬田氏等の歌迎の辭坂口、正田兩氏の答辭ありて歓人會よりの茶菓メリー、弘田マサ子、岡セツ子花束贈呈さる

須市郵便局の增築と發着發

局長ハウリー氏の聲明

スタクトン（十四日）東信電話 四四二

スタクトン郵便局長、ハウリー氏は今回同局に新に飛行郵便の發着表を作製した旨發表したが同氏の談によると郵便物の投函時間わづか一時間の差で到着が一日も早くなり、また遅くなる日（木）限りとし、二十三日日曜の午前十時より卒業及び修業式を挙行さ決したり、なほ本年度前期卒業生氏名は左の如し

西岡正三　西本輝夫　藤森克己　廣瀬博男　荒川勲　國井まつ子　新藤花子　岡本千鶴子　津嶋靜子　藤井チヅ藤重二子

▲修業生七年生十八名、六年生二十二名、五年生二十八名、四年生三十二名、三年生二十六名、二年生三十三名、一年生十九名、計百七十八名の前期生修業生あり

歡迎會盛大

沙港著

須市發　午後六時五十五分
午前四時五十五分
二日目午後六時半分
午前七時
羅府着　午後六時十五分

ハンデキャプ 庭球競技

須市日本人庭球倶樂部にては本年六月日本人專用コートにおいてハンデキャプ單試合を左の順序によりて年前九時より開催たギャストンは本日突然二三の小賣り者によつて十七仙まで値下げ實行されたが、同プラスが明日掛續されれば、他の大販賣者もこれに對抗してそれ以上の値下げを斷行するといふ

ワツソンビル

エスピー ステーションの驛

長の話に依ると約二ケ月前一日本人同驛よりエキスプレスにて

基敎の夏期學校

桑原夫人をも加へて

前項修業式と學藝會を終つたブライトン邦語學園では引續き同使敎師の高井夫人と母の會の桑原夫人ならびにスカウト二十五小隊監督で渡日する高井誠吾氏の送別の茶話會を催んだ、父兄代表豆塚己鉄氏および大正學園小林氏の祝辭、修業生一同修業の歌あり、閉師として閉式を挙げ、第二式學藝會は、高井國吾氏の司會で諸生の賣方、書方、獨語、暗誦、唱歌等三十種ほどあり、何れも上出來で盛會なりしと修業生の優等生は砂原カズエ、蓬田生の優等生は砂原カズエ、蓬田氏等の歌迎の辭坂口、正田兩氏の答辭ありて歓人會よりの茶菓メリー、弘田マサ子、岡セツ子花束贈呈さる

須市郵便局の增築と發着發

局長ハウリー氏の聲明

スタクトン（十四日）東信電話 四四二

スタクトン郵便局長、ハウリー氏は今回同局に新に飛行郵便の發着表を作製した旨發表したが同氏の談によると郵便物の投函時間わづか一時間の差で到着が一日も早くなり、また遅くなる日（木）限りとし、二十三日日曜の午前十時より卒業及び修業式を挙行さ決したり、なほ本年度前期卒業生氏名は左の如し

西岡正三　西本輝夫　藤森克己　廣瀬博男　荒川勲　國井まつ子　新藤花子　岡本千鶴子　津嶋靜子　藤井チヅ藤重二子

▲修業生七年生十八名、六年生二十二名、五年生二十八名、四年生三十二名、三年生二十六名、二年生三十三名、一年生十九名、計百七十八名の前期生修業生あり

須市邦語學園 卒業式

須市學園の本學年授業は來る二月三日を以て終業し、卒業生は左の如し

▲修業生七年生十八名、六年生二十二名、五年生二十八名、四年生三十二名、三年生二十六名、二年生三十三名、一年生十九名、計百七十八名の前期生修業生あり

歡迎會盛大

沙港著

須市發　午後六時五十五分
午前四時五十五分
二日目午後六時半分
午前七時
羅府着　午後六時十五分

ハンデキャプ 庭球競技

須市日本人庭球倶樂部にては本年六月日本人專用コートにおいてハンデキャプ單試合を左の順序によりて年前九時より開催たギャストンは本日突然二三の小賣り者によつて十七仙まで値下げ實行されたが、同プラスが明日掛續されれば、他の大販賣者もこれに對抗してそれ以上の値下げを斷行するといふ

ワツソンビル

エスピー ステーションの驛

長の話に依ると約二ケ月前一日本人同驛よりエキスプレスにて

基敎の夏期學校

桑原夫人をも加へて

前項修業式と學藝會を終つたブライトン邦語學園では引續き同使敎師の高井夫人と母の會の桑原夫人ならびにスカウト二十五小隊監督で渡日する高井誠吾氏の送別の茶話會を催んだ、父兄代表豆塚己鉄氏および大正學園小林氏の祝辭、修業生一同修業の歌あり、閉師として閉式を挙げ、第二式學藝會は、高井國吾氏の司會で諸生の賣方、書方、獨語、暗誦、唱歌等三十種ほどあり、何れも上出來で盛會なりしと修業生の優等生は砂原カズエ、蓬田生の優等生は砂原カズエ、蓬田氏等の歌迎の辭坂口、正田兩氏の答辭ありて歓人會よりの茶菓メリー、弘田マサ子、岡セツ子花束贈呈さる

●鈴鹿人會　來る十六日午後一時よりサクラメント佛敎婦人會の月次例會を開催し新入會員の歓迎と送花講話等を催すと

●櫻學園修業期　櫻學園は本月二十八日まで授業を繼續すと

●日本スター遠征　當市日本スターは本十六日バカビルに遠征しバレー中で最强の白人チームと午後二時より試合するよし

ソートレーキ

ミチュアル 炭山閉鎖

今後はゴルデン

鈴谷に進展せん

瀧田政次郎氏を主任として十數名の同胞を使つてゐたミチュアル炭坑は過般重役會議の結果永久閉鎖と決定、同キャンプ員は既に他に移轉し瀧田主任は豪義同伴當市を訪問中である聞くところによれば一時金盛を極めたスプリング、キャニオンの採炭事業は既に下火となり將來は漸次ゴルデン、クリーキ方面に伸展するであらうと

●巡遊　キャナーの芥川夫人は子供連れ▲同上国直氏は用務の爲先週中いづれも巡遊▲ブラックホークの大垣、竹入兩氏は大角氏見舞のため出市

スタクトン

●幼稚園繼續　市内バプテスト幼稚園は公立學校は夏期休暇中も當分依然授業を繼續す

●美以サンマースクール　市内次オーイ街美以敎會では三週間の夏期休暇を以て來る十八日の火曜より夏期敎會學校を開始すべしと

●櫻學園修業期　櫻學園は本月二十八日まで授業を繼續すと

●日本スター遠征　當市日本スターは本十六日バカビルに遠征しバレー中で最强の白人チームと午後二時より試合するよし

ソートレーキ

ミチュアル 炭山閉鎖

今後はゴルデン

鈴谷に進展せん

瀧田政次郎氏を主任として十數名の同胞を使つてゐたミチュアル炭坑は過般重役會議の結果永久閉鎖と決定、同キャンプ員は既に他に移轉し瀧田主任は豪義同伴當市を訪問中である聞くところによれば一時金盛を極めたスプリング、キャニオンの採炭事業は既に下火となり將來は漸次ゴルデン、クリーキ方面に伸展するであらうと

●巡遊　キャナーの芥川夫人は子供連れ▲同上国直氏は用務の爲先週中いづれも巡遊▲ブラックホークの大垣、竹入兩氏は大角氏見舞のため出市

スタクトン

●幼稚園繼續　市内バプテスト幼稚園は公立學校は夏期休暇中も當分依然授業を繼續す

●美以サンマースクール　市内次オーイ街美以敎會では三週間の夏期休暇を以て來る十八日の火曜より夏期敎會學校を開始すべしと

●櫻學園修業期　櫻學園は本月二十八日まで授業を繼續すと

●日本スター遠征　當市日本スターは本十六日バカビルに遠征しバレー中で最强の白人チームと午後二時より試合するよし

ソートレーキ

ミチュアル 炭山閉鎖

今後はゴルデン

鈴谷に進展せん

瀧田政次郎氏を主任として十數名の同胞を使つてゐたミチュアル炭坑は過般重役會議の結果永久閉鎖と決定、同キャンプ員は既に他に移轉し瀧田主任は豪義同伴當市を訪問中である聞くところによれば一時金盛を極めたスプリング、キャニオンの採炭事業は既に下火となり將來は漸次ゴルデン、クリーキ方面に伸展するであらうと

●巡遊　キャナーの芥川夫人は子供連れ▲同上国直氏は用務の爲先週中いづれも巡遊▲ブラックホークの大垣、竹入兩氏は大角氏見舞のため出市

●鈴鹿人會　來る十六日午後一時よりサクラメント佛敎婦人會の月次例會を開催し新入會員の歓迎と送花講話等を催す

A Newspaper For All Peoples Interested in the Welfare of Japan and The Japanese People

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

The Largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

NUMBER 10643. Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter. SAN FRANCISCO, CALIF., SUNDAY, JUNE 16, 1929. Copyright 1928 By The Japanese American News Per Month $ 1.00 Per Year $11.00

IDA WILL BE SPEAKER AT GRADUATION

Exercises Of Nippon Is Scheduled For This Afternoon

One of the oldest Japanese language schools of this city, the Nihon Gakuin, will hold its annual commencement exercises today (Sunday) in the school auditorium on Sutter street.

The program for the occasion has been well prepared jointly by the undergraduates and the senior class with the assistance of the instructors.

The exercises start at 2 p. m.

Opening address will be made by Mr. Wakakusu Nakagawa, chairman.

Prominent speakers will attend the exercises. They are Consul General Ida, Toyoji Abe of the New World News, Hachiro Shishimoto, of The Japanese American News, and Michitsugu Aoki of the Japanese Association of this city.

Masaharu Bo will respond in behalf of the students. This will be followed by a greeting from Yasutaro Ishii in behalf of the parents' association.

This year's graduates include five elementary students: Goro Watanabe, Jiro Misumi, Tadashi Fujimoto, Yo Ishii and Ichio Kuruma.

The remainder of the day will be in the hands of the students who will present colorful plays, songs, dialogues, dramas, piano selections, vocal solos, spelling and reading.

The chairman will be Masaharu Bo.

Discussion Will Mark Meeting Of Epworth League

"Does Following Jesus Make Any Difference?" This will be the topic of discussion today at Methodist Sunday School. It will be conducted by Miss Yuki Kuwahara, young people's religious director of the Methodist Church on Pine street.

The service starts at 10 o'clock. The regular meeting of the Epworth League will be held under the leadership of Miss Michi Oka, president of the League. Topic for discussion is: "Who Wrote Our Hymns?"

Los Angeles Blue Triangle Japanese Girl Reserves Will Send Delegates To Asilomar Business Girls' Parley

Special to The Japanese American News

LOS ANGELES, June 15—Four girls from the Blue Triangle Club of the Y. W. C. A. wil be represented at the annual Asilomar Conference which takes place for ten days commencing June 15. Other delegates from various cities throughout the state will assemble to discuss problems facing the student women.

The Blue Triangle delegates are: Misses Kiyoko Murata, Oko Murata, Fusaye Hori, and Michi Okubo.

Four other Blue Triangle girls will attend the Business Girl's Conference which will also be held at Asilomar. It convenes on August 10 and closes August 17. Discussion at this conference will be centered around the subject of the business and professional women.

The Triangle delegates so far listed are: Misses Yone Arai, Hiroko Ono, Louise Suski and Mary Koba.

20 GRADS OF JUNIOR HIGH

Hamilton School Will Hold Graduation Thurs. Night

Twenty Japanese students, ten boys and ten girls, will receive their diplomas at the commencement exercises of the local Hamilton Junior high school to take place in conjunction with those of all other San Francisco junior high schools, in the Civic Auditorium of this city, Thursday evening, June 20.

The following are the Hamilton Japanese graduates: Yuriko Furushiro, Yoshiko Isobe, Mizue Kakehi, Yasuko Kusunoki, Sakae Nakamoto, Fusako Sakai, Michiyo Teramoto, Ruth Tsujimoto, Grace Uyeda, Martha Yasukochi.

Toshiro Baba, William Enomoto, Frank Fukui, Tamotsu Kikugawa, Mitsugu Matoi, Seiki Masatoshi, Manzo Shiota, Yoshio Shiozaki, Masae Yamazaki, Tomataka Yamazaki.

THE WEATHER

OFFICIAL FORECAST:

SUNDAY—Fair and Mild.

U. C. Bears Bow To Keio Nine 7 To 3 By Costly Errors

OSAKA, Japan June 15—Keio University's baseball team defeated the University of California, 7 to 3, here today. Errors marred California's play, the team making five, while Keio made one. Keio collected ten hits and California five.

E. L. ENJOYS UNIQUE FETE

Oakland Young Peope Guests Of Savant At Observatory

Special to The Japanese American News

OAKLAND, June 15—Twenty members of the local Japanese Epworth League were the guests at a unique nocturnal party given by Dr. Greffitt at the famous Chabot Observatory in the hills behind Mills College Friday evening.

A roaring bonfire was prepared by the host on the hillside, and the young people gathered for a delightful weenie roast amid much merriment. Although the sky was over cast with brooding clouds, the hearts of the merrimakers were full of joy as they faced the cheerful flames that rose gloriously in the night.

Then, when the fire died down, the party entered the observatory, where Dr. Greffitt showed them stills of the starry firmament. He gave an illuminating talk on the universe and various bodies that are whirring in the limitless space over and around the earth. Due to the fact that the sky was cloudy, the young visitors were unable to view the stars through the telescope. But this was compensated by the interesting manner in which Dr. Greffitt outlined the rudiments of astronomy. He also explained the various instruments in the telescope room. Refreshments were served to the Japanese visitors.

Dr. Greffitt is leaving for Japan from the San Francisco port on Wednesday aboard the N. Y. K. liner Siberia Maru.

JAPAN GIRL IN MTN. VIEW WINS HONOR

Miss Sugai Delivers Valedictory Talk At Graduation

Special to The Japanese American News

MOUNTAIN VIEW, June 15—Miss Marjorie S. Sugai, valedictorian of Mountain View Grammar School, will be given a party this evening, Saturday, by her parents, Mr. and Mrs. Tokumatsu Sugai, at their home in this city. Mrs. M. Minton and Mrs. G. Bruhofer and about 20 friends will attend the party.

Miss Sugai won the honor of delivering the valedictory in a class of thirty-eight seniors. Her speech, which was commented favorably by all who attended the commencement, follows:

It is my privilege to say a few words in behalf of our class of June 1929.

We have chosen a motto "Conquering Now and Still to Conquer."

We all should try to fulfill the promise contained in this motto. We should try to be something worth while, and not idle. Choose what we want to be and work hard to conquer. If we reach the point for which we are striving, let us make even greater endeavor and in the words of a poet: "Sail on, and on, and on!"

DO SOME GOOD

I know we cannot all be an Edison or a Lindberg, but we can all be of some use and do some good.

Edison, known as the "Wizard," is greatest among the world inventors. He was born of poor parents, but worked hard to accomplish something. Once someone tried to compliment him on his achievements. Edison replied, "Genius is about two percent inspiration and ninety eight percent perspiration."

When he works, which is nearly all the time, he becomes unconscious of time and place. He has said that up to 1902 he worked on an average of nineteen and one half hours. Since that time he has averaged eighteen hours daily.

When a task is completed and when he seeks a vacation, he plays as hard as he has worked, and drives dull care entirely from his mind. He has invented many things helpful to the people as incandescent light, phonograph, motion picture machine and developed electric railways. The numbers of Edison's patents are more than 2500, about 1400 are registered in the U. S. and nearly 1200 in other countries.

Colonel Chas. Lindberg is a clean young man, who neither smokes nor drinks. He liked aviation when he was a little boy, and now he has succeeded. He made a flight from New York to Paris, and when he reached Paris, he was cheered by many hundred people. President Coolidge honored him.

Now we are ready to enter high school and work hard there... "Conquering Now and Still to Conquer" must be our motto.

We leave this school, remembering it as a well equipped building preparing us for yet to conquer.

NEVER SAY FAIL

Keep pushing 'tis wiser
Than sitting aside,
And dreaming and sighing
And waiting the tide.
In life's earnest battle-
They only prevail
Who daily march onward
And never saiy fail!

With an eye ever open
A tongue that's not dumb
And a heart that will never to sorrow sucumb—
You will battle and conquer,
Though thousands assail;
How strong and how mighty
Who never say fail!

The Spirit of angels
Is active, I know,
As higher and higher
In glory they go,
Methinks on bright pinions
From Heaven they sail,
To cheer and encourage,
Who never say fail!
Ahead, then, keep pushing
And elbow your way,
Unheeding the envious,
And asses that bray,

All obstacles vanish
All enemies quail,
In the might of their wisdom
never say fail.

In life's early morning
In manhood's firm pride
Let this be your motto
Your footsteps to guide
In storm and in sunshine
Whatever assail,
We'll onward and conquer
And never say fail.

General Yamanashi Denies Charges Of Public Corruption

Special to The Japanese American News

SEOUL, Korea, June 15—General Hanzo Yamanashi, governor general of Korea, today publicly denied the charge launched against him by Fujiro Hara, one of the Minseito leaders, that he took part in a bribery scandal of the Korean government. Hara demanded an investigation yesterday of the allegation that Yamanashi attempted to fill two important official posts by taking bribes from wealthy Korean aspirants.

Tokyo Boy Scouts To Invite Sac'to Troop 25 At Camp

Special to The Japanese American News

TOKYO, June 15—The Boy Scout Association of Tokyo today decided to invite the Sacramento Japanese Boy Scouts, Troop 25, to an international camp to be launched on the banks of the famous Fuefuki River in Yamanashi Prefecture during the latter part of July. The camping site is located in a beautiful valley that is surrounded on three sides by famous peaks, with the towering Mt. Fuji visible in the distance.

A scout troop of Siam has also cabled a request for participation in this camp.

L. A. SEEKS INSTRUCTOR

College Graduate To Teach Japanese Is Sought by School

Special to The Japanese American News

LOS ANGELES, June 15—For what is heralded to be the first time in continental America, Japanese language will be taught in a high school in this city. The board of education, through Prof. Ken Nakazawa, is seeking a college graduate who is qualified to teach correct Japanese to undergraduate stutdents.

Present plans call for formation of an experimental class in the evening school of the Polytechnic high school, and the announcement of this innovation has already been made.

The demand for instruction in the Japanese language is increasing rapidly along the aPcific coast. Several ne wclasses have been formed in the different colleges, including the University of Southern California, where actual instruction commences from coming semester under a German professor.

Civic League Of Hawaii Celebrates First Anniversary

HONOLULU, June 8—The Waialua Civic Club, organized a year ago by the younger generation of Japanese, celebrated its first anniversary recently and installed a new set of officers.

Nearly 100 young men and women attended the anniversary dinner and election of officers which were held at the Sea View Inn. Masatoshi Katagiri presided, reviewed the club's activities for the past year and outlined its program for 1929. Masao Nishimura, recording secretary, submitted his report, while L. Oka, treasurer, made a statement on the financial status of the organization.

Attorney Wilfred C. Tsukiyama, president of the Hawaiian Japanese Civic Club, and Fred L. Jones, principle of the Andrew Cox Junior high school, were speakers of the evening. The guests included Rev. and Mrs. S. Fukuda, welfare worker of the Waialua plantation; Mr. and Mrs. James Awai, of Kawailoa; and Colbert I. Kurokawa, Robert S. Komenaka and S. Maruyama of Honolulu.

Komenaka entertained the members with several vocal solos, including Japanese and English.

The following were elected officers of the club:

Masatoshi Katagiri, president; Miss Gertrude Doi, first vice-president; Tadaichi Haga, second vice-president; Robert Koike, corresponding secretary; Masao Nishimura, recording secretary; Kazuo Mukai, treasurer; Hideo Hiramoto, auditor.

Japan Will Send Representatives To Medic Parley

In spite of political trouble and almost incessant factional wars, China will send a strong delegation of medical men to the Pan-Pacific surgical congress at Honolulu August 14-24.

News has been received from Shanghai that Dr. Way-Sung New, representing the National Medical Association of China, and at least five delegates will be sent by the nationalist government. The new Chinese government is taking keen interest in modern medical practice.

Japan will be strongly represented with a delegation of about 10, headed by Dr. S. Sugimura, president of the Japan Medical Society. Many others from the Philippines, Java and probably Indo-China are booked to come for the congress, and some of them will continue to the states. The congress has prepared an agenda of subjects of particular interest to medical men around the Pacific, including disease and discussions on tropical diseases.

Y TO AWARD MEDALS AT FAMILY FETE

Japanese Youths Take Ist Prize In World Ball Throw Tilt

In order to assemble together for a social time before the summer vacation, the local Japanese Y. M. C. A. will hold a "Family Night" Monday evening at its building on Sutter street. Interesting entertainment is in store for all, including parents, who are the honored guests of their sons.

Dr. K. Kiyasu, a director, will be the chairman. Congratulations will be given by Dr. Kitagawa, chairman of the committee on management, for the fine showing the Japanese "Y" boys achieved at the California-ad tourney. K. Tomizawa, secretary, will speak on the "Building of the 'Y'".

Twenty nine gold medals and certificates won, at the California will be awarded to the Japanese boys by E. T. Arima, boys' committee chairman. Winners of the inter-club contest will also be awarded medals on this occasion.

FREE THROW TROPHY

A feature of the evening will be the presentation of the Free Throw Trophy, awarded to the Japanese Y. M. C. A. by the World Free Throw Committee. The Japanese "Y" shooters competed against 7100 teams from all over the world in the intermediate class, and they were declared winner when they amassed a total of 372 points against 364 made by Mahony high school of Pennsylvania, their nearest rival. Mitchel high school of Dakota and 1st middle school of Seoul, Korea, finished third and fourth respectively.

The local team was composed of Susumu Takao, Isamu Yamakawa, Roy Kaneko, Mitsuo Saito, Yoshio Zaiman, Motomu Ishii and Shoji Doi. It took third honor last year and fifth place two years ago.

Following the presentations of awards, the "Y" boys and their parents will enjoy a social hour.

Community singing will be lead by Wilbur Takiguchi. There will also be a program of three-reel motion picture.

The program starts at 7:45 o'clock. The social hour will commence at nine o'clock.

Y Comrades Stage Farewell Dinner At Sho Wa Low

The Blazing Arrow Comrade Club will hold a farewell dinner tonight (Sunday) at the Sho Wa Low at 6:30 o'clock. K. Suzuki, principal of Kinmon Gakuen, and K. Tomizawa, executive secretary of the Y. M. C. A., are the main speakers of the evening.

The Comrade boys will enjoy a party at the President Theater in the afternoon and attend a performance of Walker Whiteside in "The Hindu".

Inventor Seeks To Raise Warships In Tsushima Straits

Special to The Japanese American News

TOKYO, June 15—Lieutenant-General Junpei Fukui, whose remarkable invention for salvaging sunken ships was sucessfully tested yesterday in Hiroshima Bay, today applied for the permission to raise up the 17 Russian warships that were sunk during the Russo-Japanese war in the Straits of Tsushima between Kiushiu and Korea. Fukui's invention works undr the lever system. The sunken ship is raised by means of cables which are pulled over the floating pivot and drawn by the weight of an old ship that is to be sunk alongside it.

OREGON GIRL ROSE QUEEN

Miss Marumoto Rules Over Nippon Float In Annual Fete

Special to The Japanese American News

PORTLAND, June 15—Miss Fumie Marumoto, chosen by the local Japanese people as queen of their float, was the beauty of the grand parade held during the annual Portland Rose Festival, June 8 to 14.

Miss Marumoto's court of honor and escorts included Misses Takako Saito, Frances Maeda, Emiko Somekawa and Chizuko Inouye, Miss Akiko Tsubol was the Japanese queen for the International Float that formed a striking spectacle in the parade.

The Japanese float was twenty feet long by nine feet wide, and it carried an appropriate Japanese motive. Each of the girls wore a dainty Japanese costume. hTe community celebrated the festival with a "Japanese Night." Kofu Ishi, the artist who recently visited Seattle, and Kuzo Furuya, are responsible for the decorated curtain, 35 feet by 12 feet, which was used during the program.

Four Japanese Get Parchments From Sacramento School

Special to The Japanese American News

SACRAMENTO, June 15—From the Washington Grammar School, four Japanese received their diplomas at the comemncement exercises held on June 13. They are: Shigeko Nakano, Shiro Imai, Harry Nakano, Tadashi, Tanaka.

Many Students Of Stockton Schools Awarded Diplomas

Special to The Japanese American News

STOCKTON June 15—Montezuma Grammar School graduated the following Japanese students: Seko, Higashimura, Nitta, Mitsuda, M. Nitta. From Elenwood grammar school: Nakahira. French Camp grammar school: Fujimoto, Tomita, Watanabe, Itaya, Shiromizu.

S. F. GAKUEN WILL HONOR MANY GRADS

Commencement to Be Held At Buddhist Temple Today

Five Kotoka and eleven elementary graduates will be given diplomas at the sixth commencement exercises of the Soko Gakuen, which takes place Sunday at the local Buddhist Auditorium on Pine street. The ceremony starts at one oclock.

The program will open with singing of "America." This will be followed by a school report by the Rev. Mr. Yamori. Presentation of diplomas, advice by Mr. Motoyama, Congratulatory remarks by Mr. K. Fukagai, as well as addresses by representatives from the local newspapers will mark the annual exercises. In behalf of the consulate Vive-Consul T. Kaneok will deliver the principal address of the day.

In response to the guest-speakers, two representatives from the grammar school, I. Yoshimoto and M. Yoshinaga, will speak their thoughts in behalf of the graduating class.

T. Tsukada will represent the parents and give a talk to the students. The graduation song will then be sung, and the rest of the program will consist of a series of dialogues, story-telling, drama, play, harmonica selections and speeches by the students.

The graduate list this semester: Kotoka—Tsko Hashimoto, Mitsugu Yoshinaga, and Misses Mitsuko Yoshimoto, Haru Enomoto and Masako Matoi.

Elementary graduates—Eichi Sato, Yoshio Enomoto, Tomoye Nozawa, Mitsugu Matoi, Kiyoko Murata, Hiroko Fujita, Hiroko Kawahara, Tatsuko Okuda, Yoshiko Itatani, Michiye Ono, and Ichiro Yoshimoto.

17 Japanese Get Diplomas From Loomis School

Special to The Japanese American News

LOOMIS, June 15—Seventeen graduates from Loomis Union grammar school were honored jointly by the Loomis Epworth League, Women's Club, and the Y. M. C. on Saturday, June 8, at a social party which was enjoyed by over eighty people.

The entire evening was full of mirth and laughter. Jokes, stories, musical entertainment, and some delicious refreshments proved popular with the guests. Congratulatory speeches by various spokesmen were delivered in an impressive manner.

The guests of honor were: Misses Sumi Kuse, Toyoru Kawano, Midori Makimoto, Susie Sakamoto, Gracie Sakai, Esther Yagi, Tamiko Sakamoto, and Shin Adachi, Sam Kawahata, George Makabe, Hideo Okusaku, T. Oseto, Shigeo Otani, Teru Otani, George Sakamoto, Jonathan Takaguchi and Ben Yoshioka.

Passengers Of Ill Fated Baikal Maru Seek Compensation

Special to The Japanese American News

TOKYO, June 15—Alleging that the captain of the ship was coldly indifferent during the crisis and that as a consequence they had undergon extreme mental suffering, the passengers of the ill-fated Baikal Maru which stranded off the Coast of Korea a few days ago today demanded adequate compensation from the O. S. K. line.

Three hundred ninety-nine passengers and a crew of 34 were rescued from the stranded ship on June 12 by the Shimaya Kissen Kaisha liner Chosei Maru. The Baikal Maru hit the shoal because of the thick fog that blinded its path.

Stanford Japanese Students Elect New Officers At Meeting

Special to The Japanese American News

STANFORD, June 14—Niroku Kusumoto was elected president of Stanford University Japanese Student Club at its recent general meeting held here. Other new officers are: Vice president, Hachiro Shimbo; treasurer, James Takesaka; secretary, Frank Kitagawa; house manager, Henry Tamada.

Newsboy Wanted

WANTED—Reliable boy to deliver Japanese American News. After school work. Apply to Mr. Ichimaru, at the office of The Japanese American News, 650 Ellis Street, San Francisco.

OUR JUNIOR SECTION

Address The Junior Editor, 650 Ellis Street, San Francisco, Calif.

The Weekly Junior editor asks us to thank the kind sender of the first letter for the weekly. It is full of interesting things about its writer's play and work. Look for it in the first Weekly edition.

—Junior—

From Mary Harada, in Eau Gallie, Florida, comes a beautifully typed, charmingly expressed letter that we wish we could show to every Junior because in a club like ours we are all proud and glad of each other's success.

We have a message for you, Mary, from the Weekly Junior Editor, who has seen your letter. She says:

"Will you please ask Mary Harada to write for the Weekly? We need stories (not necessarily funny ones). We prefer that they be original. And they can be any length.

"We need poems. It looks to me as if the writer of this letter can probably compose very lovely poems. Will she be so good as to send us one or more? The hokku is a splendid form, and one that is being studied and used as a model in some of the best American schools.

"We need descriptions of Florida or of any beautiful or strange places or things: and many other pieces of writing. Mary's cooperation would be a real help."

—Junior—

Mary sends five capital jokes. We thank her cordially.

Teacher: John, you have spelled "apartment" with two "p's".

John: Which one shall I take out?

—Junior—

Husband: Darling! I smell something burning!

Wife: Yes, its the pie. But according to the cook book I can't take it out for another twelve minutes yet.

—Junior—

Teacher: Why—

Oh, we remember now that somebody else sent that joke in ahead of you, Mary. It has already been printed.

—Junior—

Pat: Girls want a lot now-a-days.

Mike: Yeah, and a house on top of it, too.

—Junior—

Father: Son, if you'll get rid of that yellow purp I'll give you 50 cents.

Son (after 4 hours): Well, pop, I got rid of Fido. Where's my 50 cents?

Father: Right here, son. How did you get rid of him?

Son: Oh! I traded him off for two more purps.

—Junior—

Junior joke-senders, attention!

Just yesterday we learned that one of the big joke-papers never allows any of its jokes to be printed by anybody, for any reason, even if their paper is given the credit for them. So we shall have to be very careful after this. We don't want our own JAPANESE AMERICAN NEWS or JAPANESE AMERICAN WEEKLY to get into any trouble through our fun.

So please, all Juniors, after this tell us where you got each joke or riddle. This is very important. Maybe we ought to print where we get them anyway, just to be polite to the person or paper that gave them to us.

And since we might have a lot of trouble if we quoted from the wrong paper, we shall have to make it a rule that after the first day of July no riddle or joke or story or anything else (except of course a letter) will be printed in our section unless the editor knows where it came from. So write the paper from which you copied each separate thing, won't you?

Of course if you write it yourself, that will be fine. In this case say at the top "original".

The weekly Junior Editor particularly wants original things—that is, stories, poems, descriptions, and anything else that you make up yourself out of your own head.

$1,000 in Cash Given Away!

To Readers of
The Japanese American News
and
L. A. Japanese American

In Astounding Contest

June 1 to August 31

The Japanese American News, always a guardian and helper of the second generation young people, has launched a huge plan to give away $1,000 in cash to our readers.

The project is one of the most attractive and astounding offers ever undertaken by any Japanese newspaper on the Pacific Coast.

The contest is open to ALL OUR READERS, regardless whether they are our subscribers or not.

Many of our readers are students, who would like to earn money during the summe vacation in order to carry them through the next school term. By a little industry they may win not only the cash prize but also the cash premium which goes with each subscription.

Here are the prizes in The Japanese American News subscription contest:

First Prize	$500
Second Prize	$250
Third Prize	$100
Fourth Prize	$ 50
Fifth Prize	$ 25
Sixth to tenth prizes, inclusive, $15 each	$ 75

Our contest involves no complicated rules. It is simplicity in itself. Here are the rules:

1. The contest will be conducted on the point system. Contestants attaining the highest points win the prizes in their respective order.
2. Those desiring to enter the contest must send in the applications, together with three one-year subscriptions or six half-year subscriptions, to the Subscription Contest Manager. These applications may be sent either direct to The Japanese American News, 650 Ellis Street, San Francisco, or to one of the branch offices of this paper.
3. Each qualified contestant will be given 1,500 points to start with.
4. All subscriptions must be for either The Japanese American News of San Francisco or The Los Angeles Japanese American News, or both. The subscriptions must be PAID IN ADVANCE, and they MUST BE NEW SUBSCRIPTIONS.
5. From the fourth to the tenth subscriptions one thousand points will be given each one-year subscription. Two half-year subscriptions will count as one one-year subscription.
6. From the eleventh to the twentieth subscription, fifteen hundred points will be given each one-year subscription.
7. For all subscriptions above this number, 3,000 points will be given each one-year subscription, or 1,500 points for each half-year subscription.
8. Besides these points toward the prizes, cash premiums of $2 will be given for each one-year subscription or $1 for each half-year subscription.
9. The contest opens June 1 and closes on August 31.